

鋼管群杭を用いた 線路上空建築物の設計手法

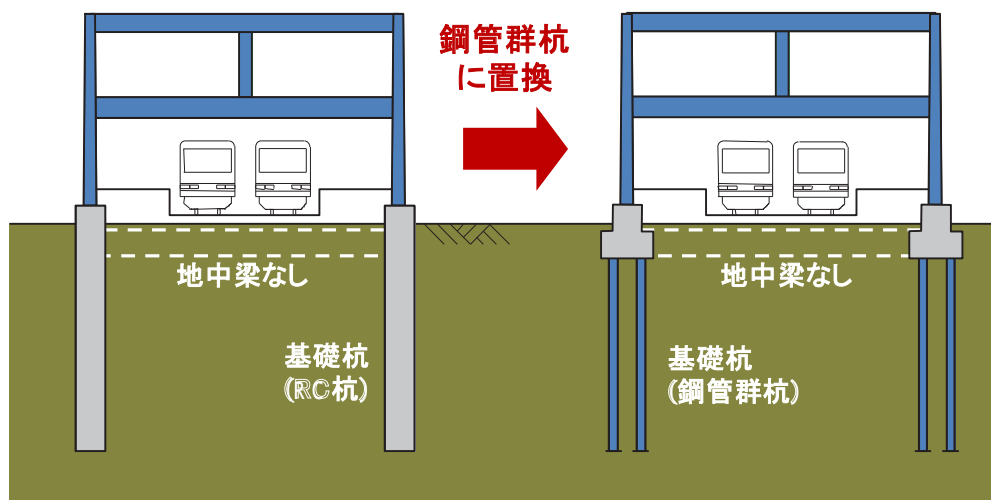
(Design Method for Over Track Buildings
with Steel Pipe Pile Groups)

【概要】

線路上空建築物では地中梁の無い1柱-1杭形式が多く、基礎杭が大きくなる場合があります。そこで、施工性向上を目的として、基礎杭に羽根付き小口径鋼管杭を用いた群杭として利用するための技術開発を行い、構造設計手法を提案しました。

【特徴】

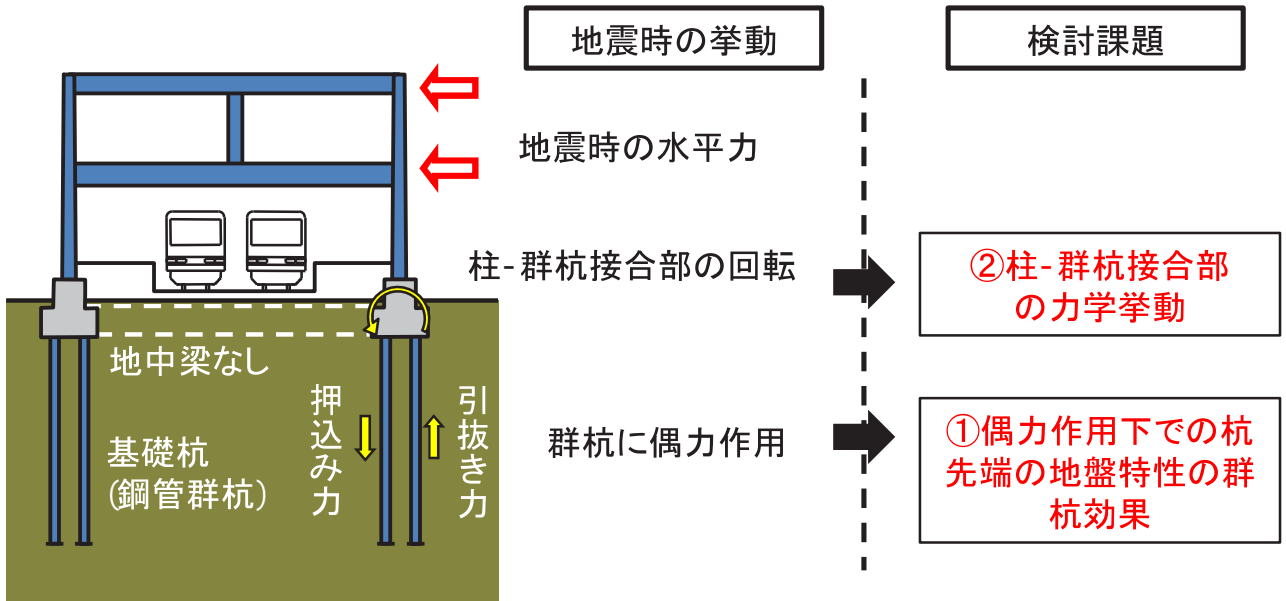
- ・偶力作用下での地盤特性の群杭効果及び柱-群杭接合部の力学挙動の解明
- ・線路上空建築物の基礎構造に鋼管群杭が適用可能
- ・鋼管群杭利用による杭の施工性の向上



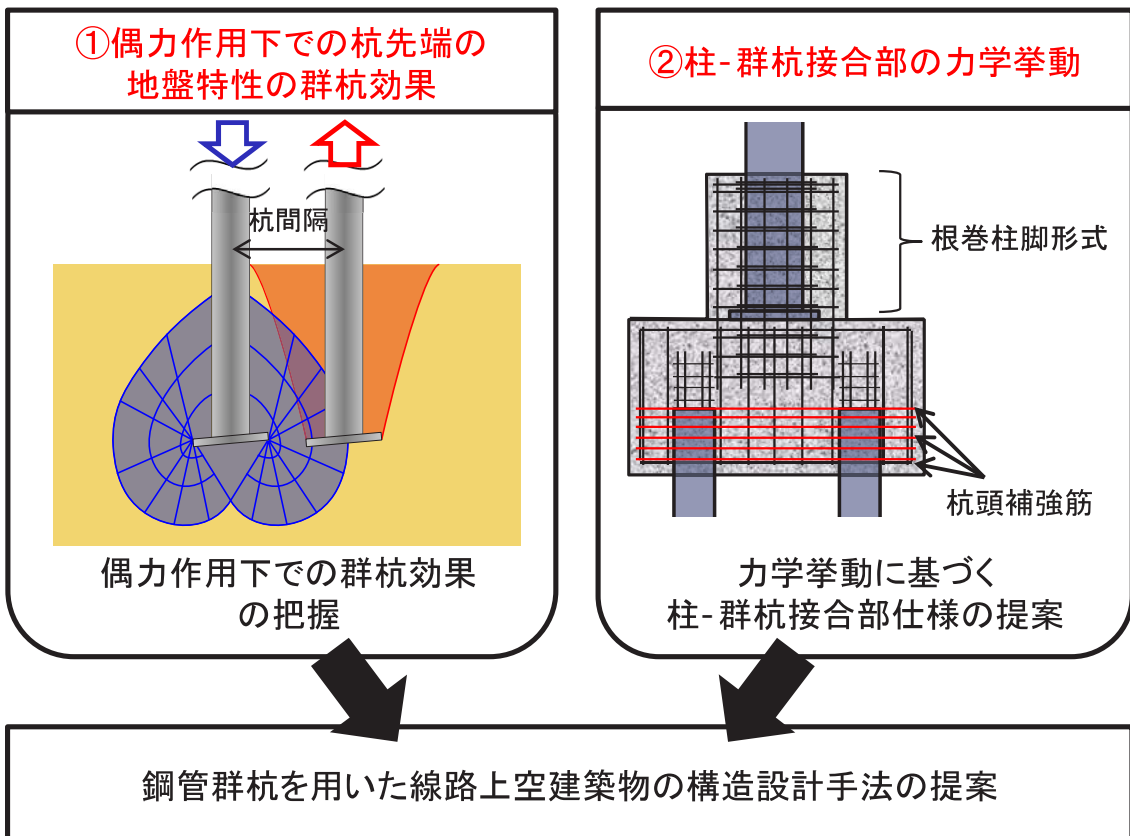
線路上空建築物への群杭利用

【用途】

- ・線路上空建築物等の構造設計に利用



鋼管群杭利用に対する検討課題



本研究の一部は、鉄道総研・新日鐵住金・新日鐵住金エンジニアリングの共同研究の成果です。



公益財団法人鉄道総合技術研究所
構造物技術研究部 建築、基礎・土構造